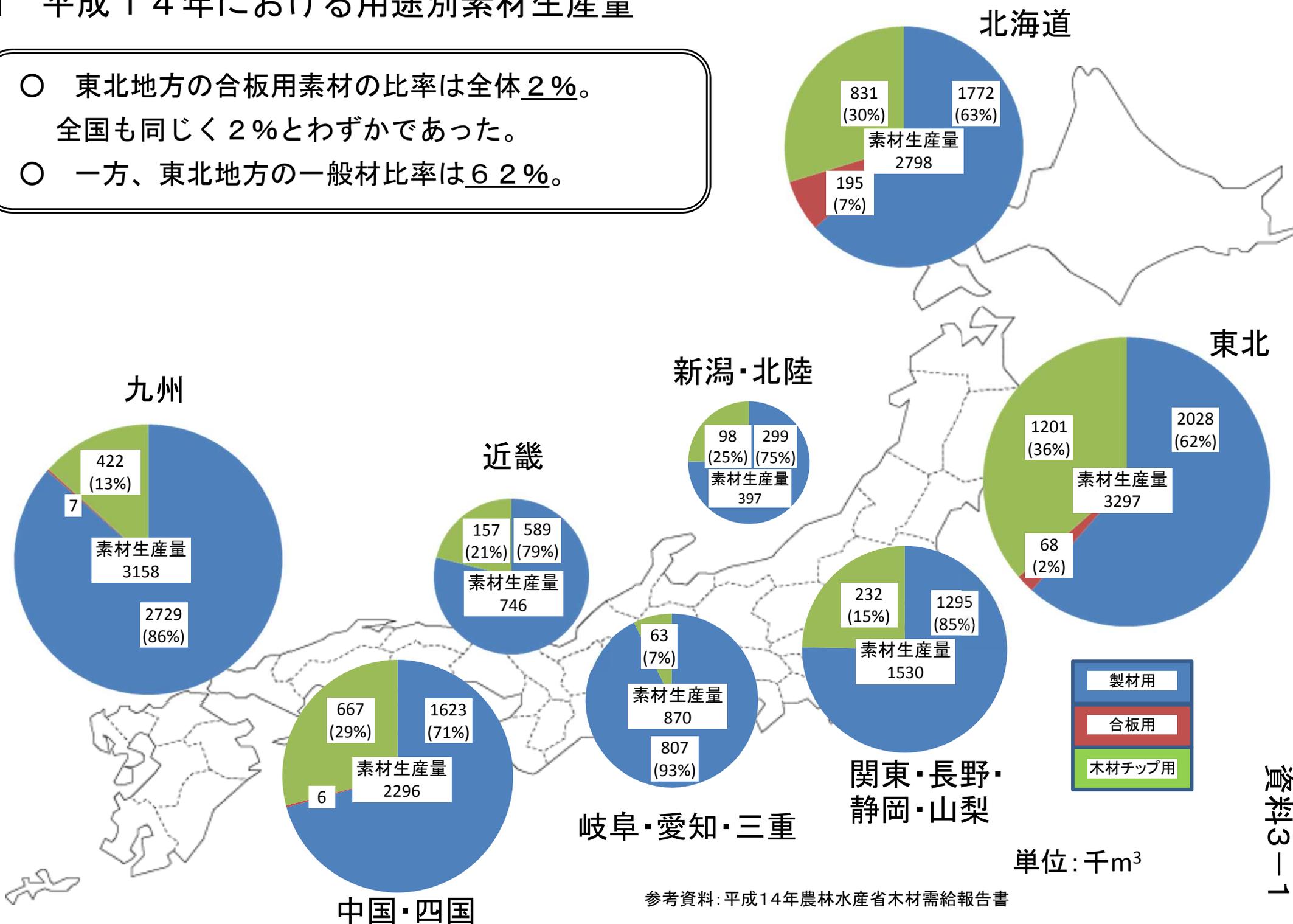


# 東北森林管理局管内の 木材需給構造等の変化等について

# 平成14年における用途別素材生産量

- 東北地方の合板用素材の比率は全体 2%。  
全国も同じく2%とわずかであった。
- 一方、東北地方の一般材比率は 62%。

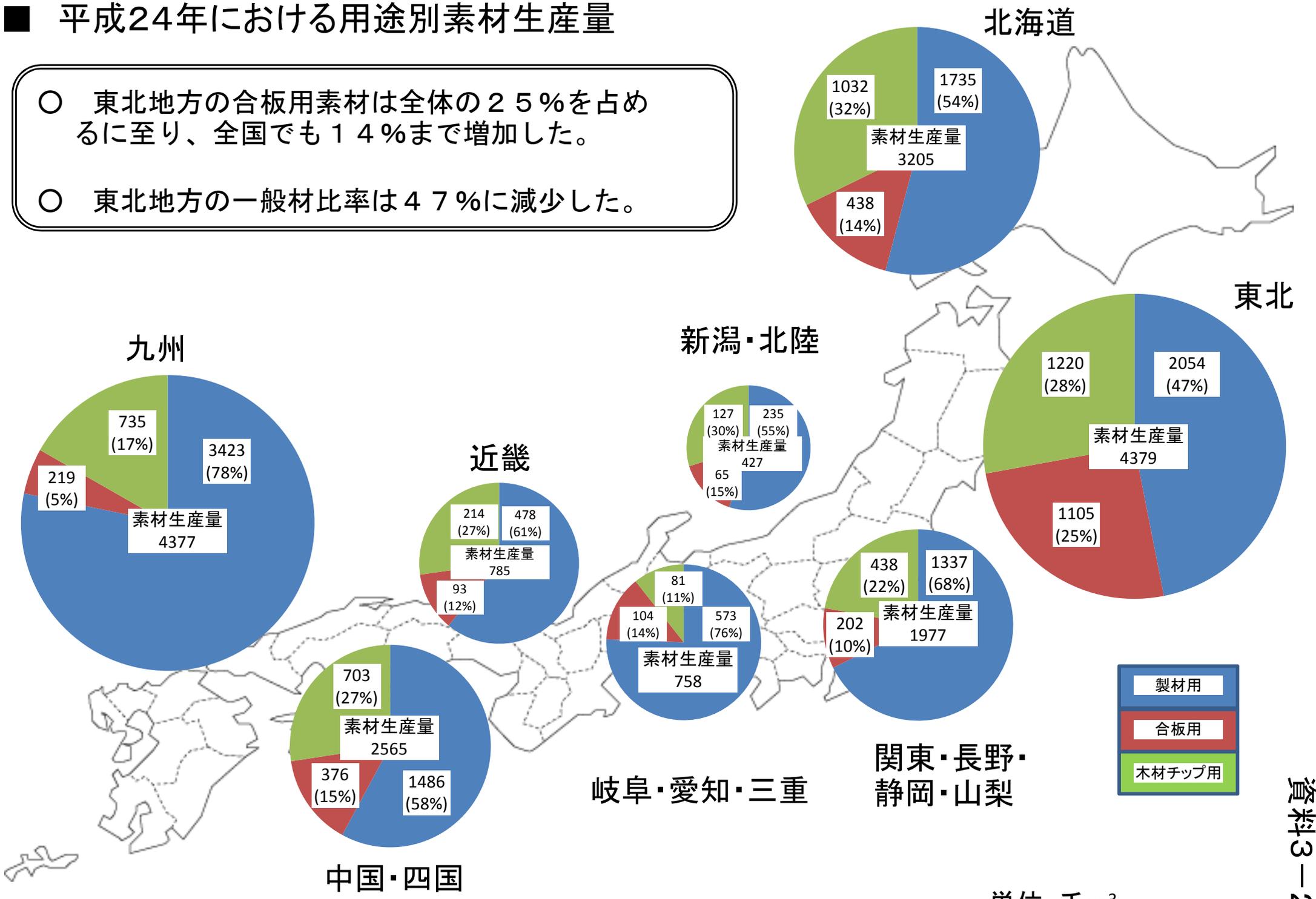


参考資料：平成14年農林水産省木材需給報告書

# ■ 平成24年における用途別素材生産量

○ 東北地方の合板用素材は全体の25%を占めるに至り、全国でも14%まで増加した。

○ 東北地方の一般材比率は47%に減少した。

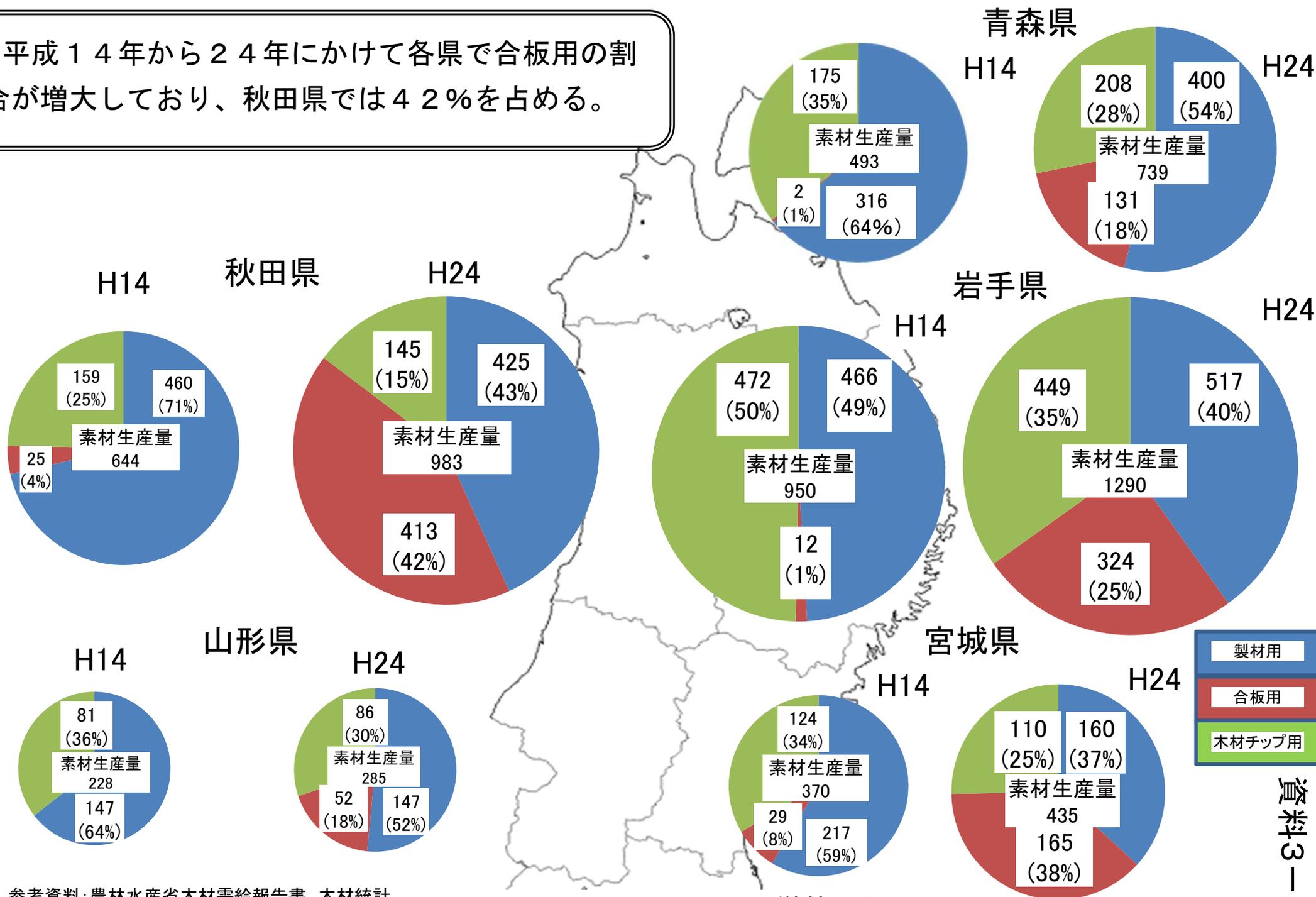


単位：千m³

参考資料：平成24年農林水産省木材統計

# 平成14・24年における東北局管内の用途別素材生産量

○ 平成14年から24年にかけて各県で合板用の割合が増大しており、秋田県では42%を占める。



参考資料：農林水産省木材需給報告書、木材統計

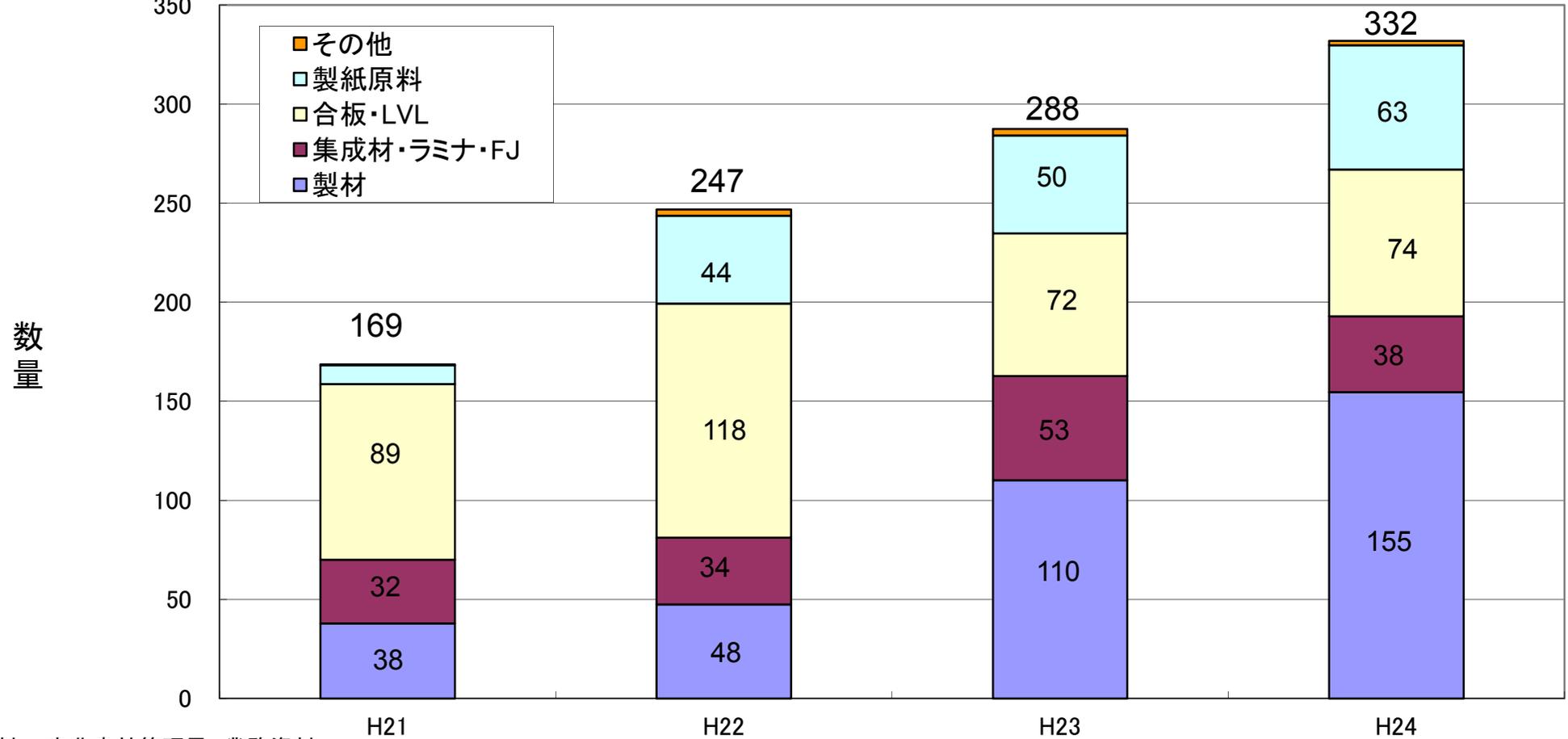
単位：千m³

# ■ 用途別システム販売量の推移（平成21年度～24年度）

- 平成21年度から24年度にかけてシステム販売量は約96%の増加で、ほぼ倍増。
- 製材用素材の占める割合は、平成21年度の22%から24年度には48%と拡大。製紙用原料も6%から19%と増加させた。
- 一方で、合板・LVL及び集成材等素材の占める割合は、それぞれ53%から22%、19%から11%と減少させた。

(千m<sup>3</sup>)

用途別販売量の推移



資料：東北森林管理局 業務資料

※ その他は丸棒・杭及びボード・燃料の総計。  
 ※ 用途は便宜的に分類したもので、必ずしもその用途に使用しているとは限らない。

指 示 書

秋田スギ、スギの採材について（指示書）

- 1 採材の優先順位について
  - (1) ア、イ、ウ、エの順位で採材の可能性を検討する
    - ア 概ね8cm上4.00mの直材を採材する。
    - イ 概ね8cm上4.00mの直材が採材できない場合は、需要動向により14cm上3.65mを採材する。
    - ウ 概ね8cm上4.00m直材の直材及び14cm上3.65m直材の採材ができない場合は、14cm上3.00m直材を採材する。
    - エ 14cm上3.00m直材が採材できない場合は、14cm上2.00m直材を採材する。
  - (2) 小曲材の採材について
 

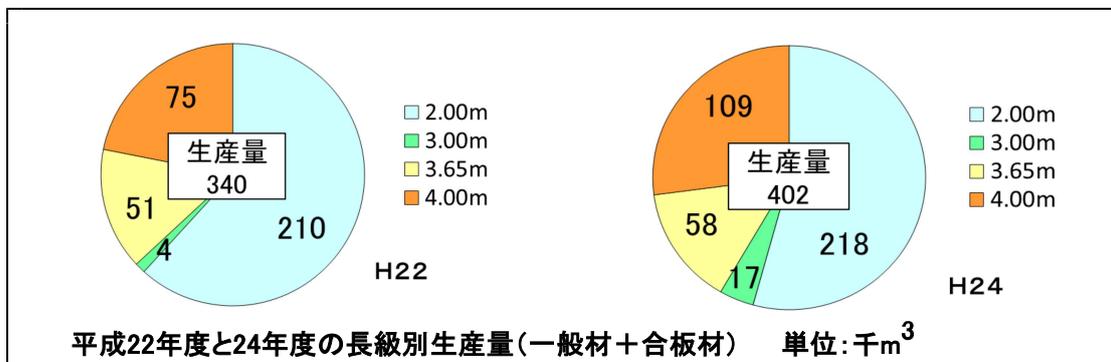
上記ア、イ、ウ、エに合致しない場合は、需要があれば上記に準じて、小曲材を採材する。
  - (3) 上記(1)及び(2)に合致しない場合について
 

概ね8cm上2.00m材を採材する。
- 2 造材基準寸法（採材木取寸法）について
  - (1) 小曲材の基準4m、3m及び2m材の小曲の基準は概ね20%以下とする
  - (2) 上記1の造材基準寸法（採材木取寸法）
  - (3) 小曲材は需要がある場合に採材（特にカラマツが可能性あり）

樹種	材長(m)	径級(cm)	等級	主たる用途	備考
秋田スギ	4.00	8上 14上 14上	込、各等 各等 込	一般製材 集成材 合板材	直材 小曲材 腐れ、多節、小曲材
	3.65	14上	各等	一般材	直材（需要動向により）
	3.00	30上 14上 13下	各等 各等 込	一般製材 集成材 杭	直材 直材、小曲材 概ね8cm上直材、小曲材
	2.00	14上 14上 14上 13下	各等 各等 込 込	一般製材 集成材 合板材 杭	直材 小曲材 腐れ、多節、小曲材 概ね8cm上直材、小曲材

- 3 巻立について
 

一般材の極積については、原則として、小径材（概ね8cm～13cm）、中径材（14～28cm）、大径材（30cm上）及び小曲材に区分して巻立すること。  
 なお、これによりがたい場合は監督職員の指示を受けること。

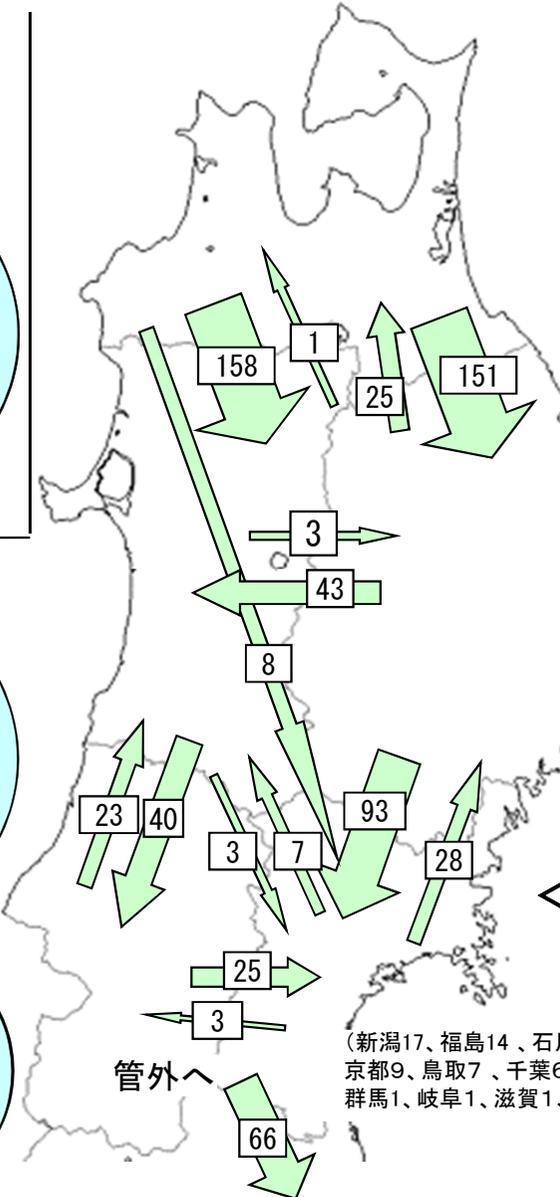
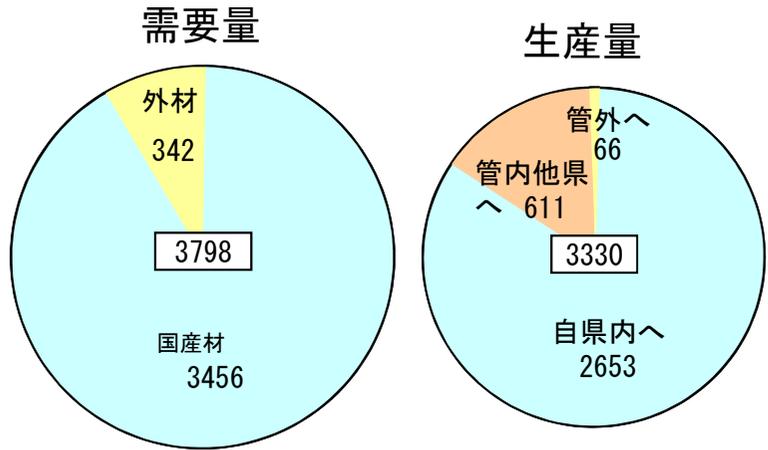


資料： 東北森林管理局 業務資料

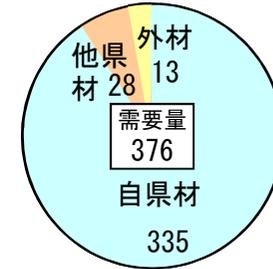
# ■ 平成23年における東北森林管理局管内各県の素材流通構造

○ 震災の影響で生産量の対前年比は岩手-22%、宮城県-19%と大きな影響を受けた。  
 こうした中で青森県から県外向けの生産が増えトータルで+13%、秋田県は自県用の生産が増え、+6%となった。

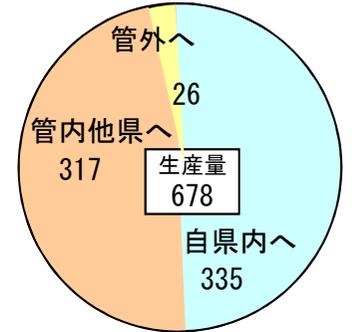
## <東北局管内全体>



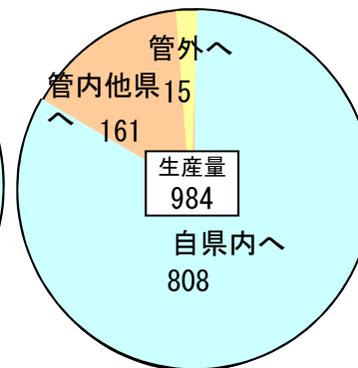
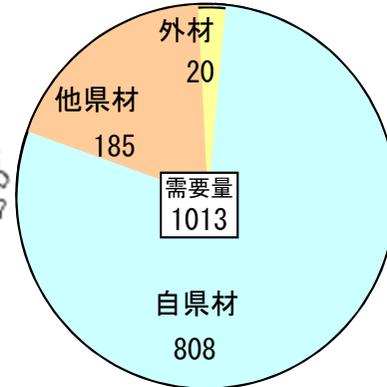
## <青森県>



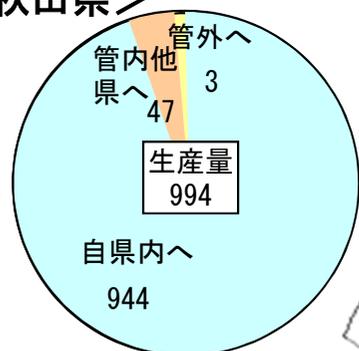
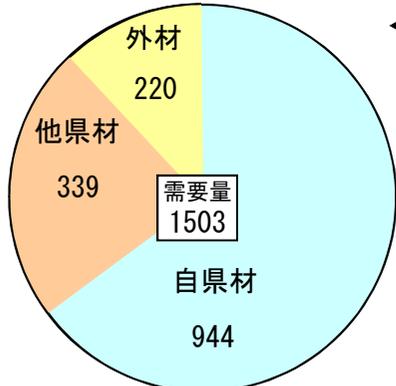
(単位: 千m³)



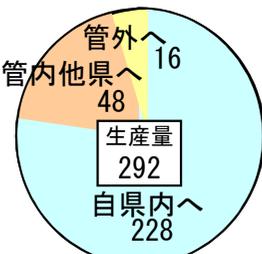
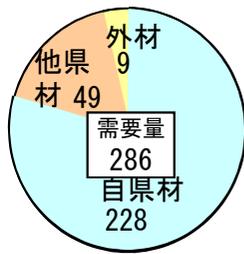
## <岩手県>



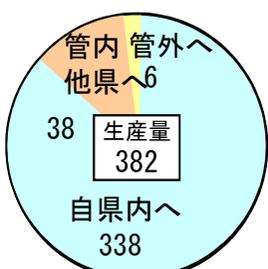
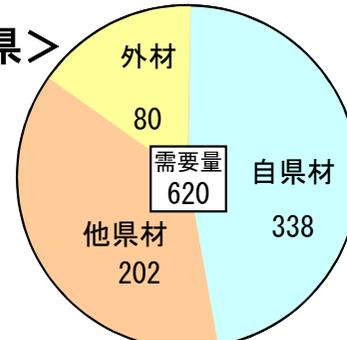
## <秋田県>



## <山形県>



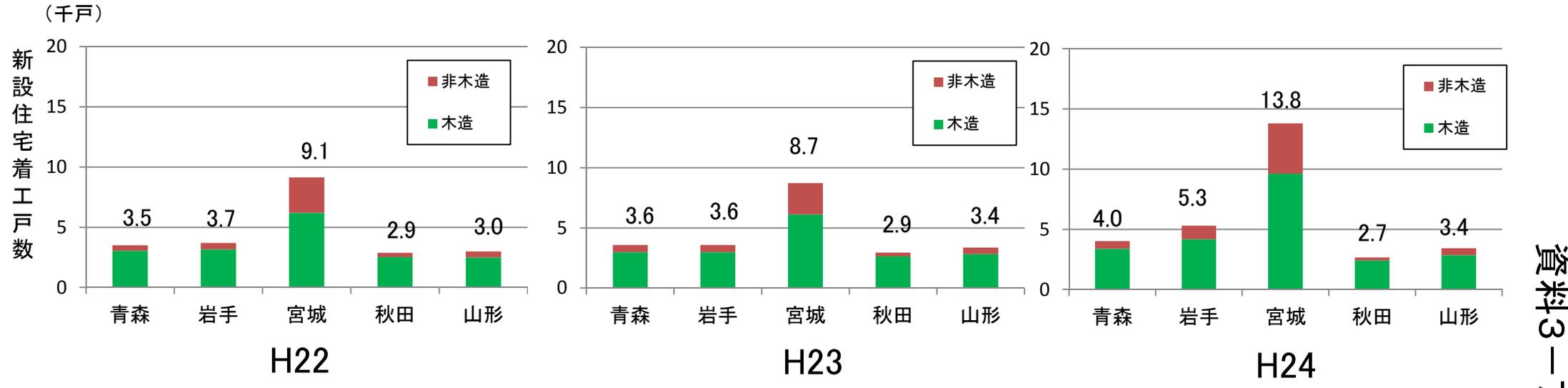
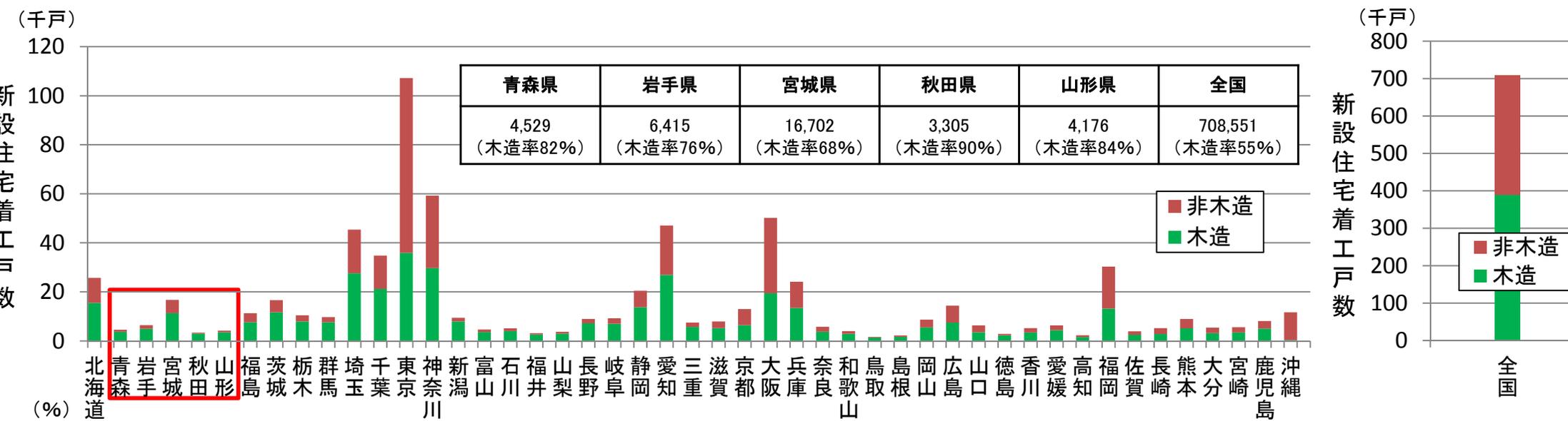
## <宮城県>



(新潟17、福島14、石川9  
 京都9、鳥取7、千葉6  
 群馬1、岐阜1、滋賀1、岡山1)

# ■ 新設住宅着工戸数(平成25年1月～9月累計)

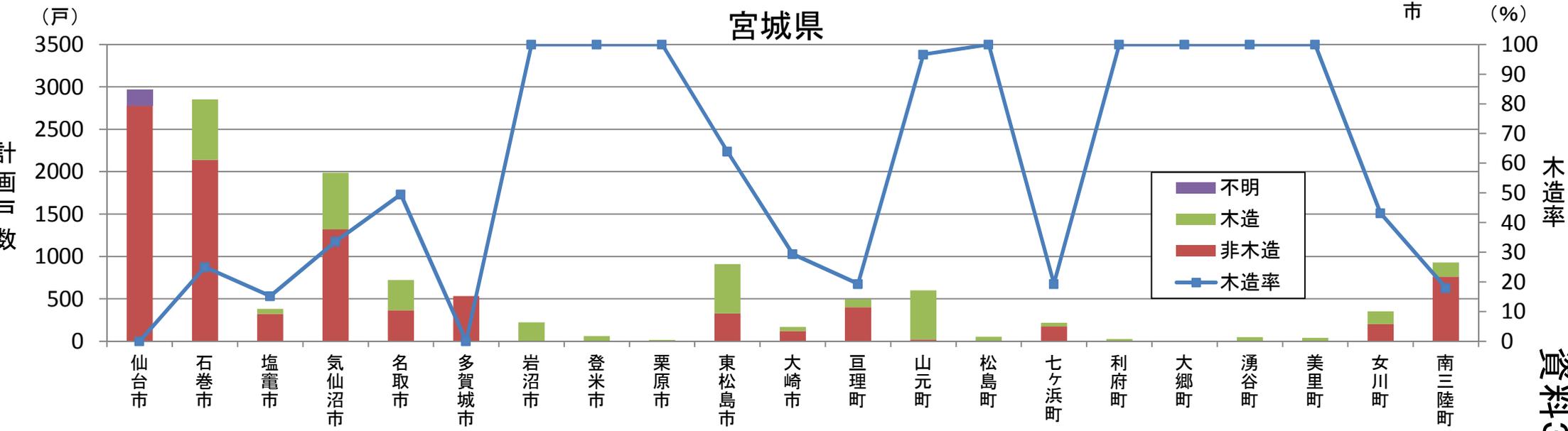
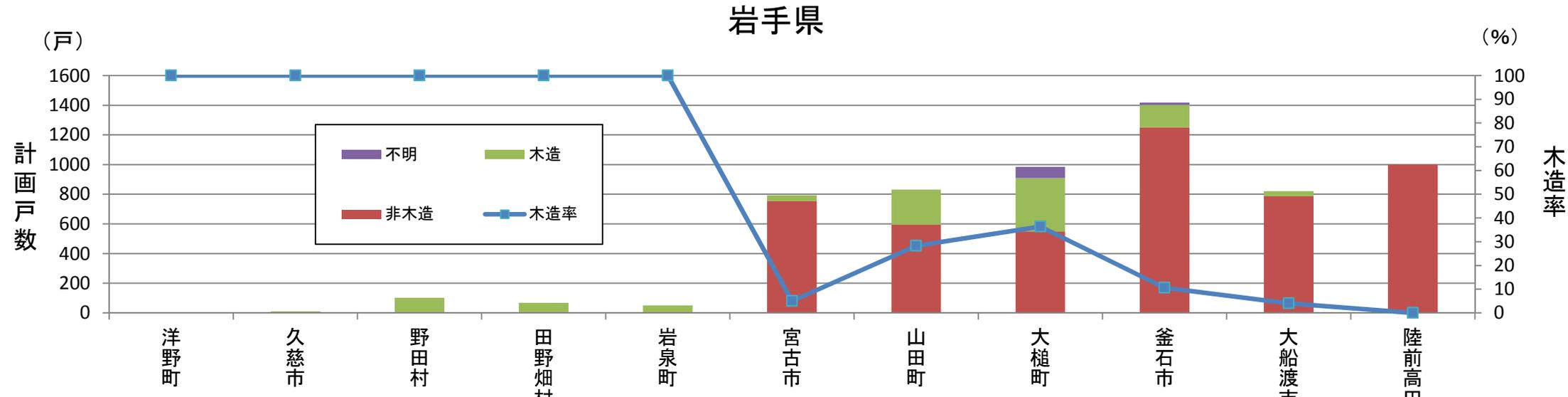
- 東北局管内の平成25年1～9月の新設住宅着工戸数は前年同期に比べて各県12.5～23.9%の増加率となっている。
- 平成25年と震災前の22年を比較すると岩手県が73%、宮城県が84%増加した。



出典:国土交通省「住宅着工統計」

# 災害公営住宅の整備状況

○ 岩手県は木造率 17%、完成率 4.3%。宮城県は木造率 29%、完成率 1.2%。



出典：宮城県復興住宅整備室HP、岩手県建築住宅課HP、復興庁「住まいの復興工程表」

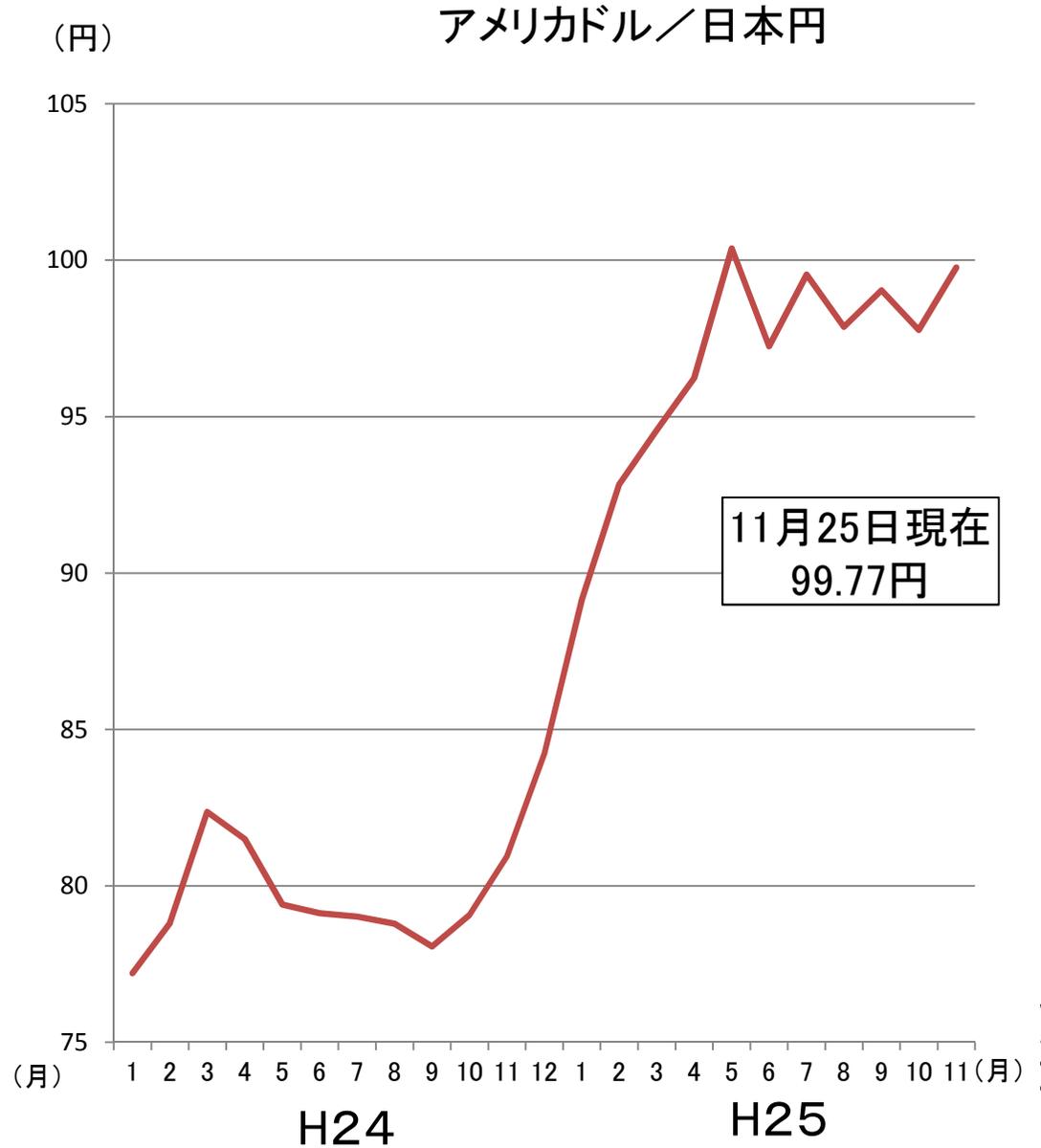
※ 岩手県は平成28年度までの計画戸数。宮城県は、平成27年度までの計画戸数。

木造率

木造率

# 為替レートの推移(平成24年1月～平成25年11月)

○ 11月25日時点で、1ユーロ135.15円、1米ドル99.77円。



出典: YAHOO! ファイナンス